

研修会報告

2019年6月8日

分責：血液部門員 千葉勇希

宮臨技血液部門研修会

『日当直に役立つ！血算・凝固検査データの見方、考え方』

開催日時：2019年6月8日(土) 14:00～17:00

会場：東北大学医学部6号館1階講堂

【講演・講師】

1. 「自動血球分析装置の測定原理と粒度分布」

シスメックス株式会社仙台支店学術サポート課 阿部安樹先生

2. 「症例から学ぶ血液凝固検査」

積水メディカル株式会社学術技術担当 服部和久先生

3. 「2級試験受験について」

東北大学病院診療技術部検査部門 石塚静江技師

日臨技生涯教育研修制度 専門20点

参加者 会員57名（実務委員7名含）、非会員（申請中）1名、賛助会員4名、計62名、

【内容】

本研修会は、『日当直に役立つ！血算・凝固検査データの見方、考え方』をテーマに、血算や凝固検査の基礎を理解し、臨床で遭遇する異常データの見方・考え方を学ぶことで、日常検査だけでなく、日当直業務に活かすことを目的に企画した。

講演1では、自動血球分析装置の原理から、データの見方について講演していただいた。異常データを捉えるためには分析装置の特性や原理を理解しておく必要があるため、普段血液検査に従事していない技師だけでなく、血液検査を担当している技師にとっても知識の再確認となる非常に有益な講演であった。

講演2では、PT、APTTに異常値を呈した症例を中心に、データの見方や考え方について講演していただいた。凝固検査以外の検査データや薬歴等を参考にして異常値を呈した原因を探るプロセスを分かりやすく学べる講演であった。

講演3では、日本臨床検査同学院が実施する二級臨床検査士試験（血液学）を受験し、合格に至った経緯について講演していただいた。受験のスケジュールから試験内容のポイントを詳細に解説していただき、これから二級試験の受験を考えている方にとっては非常に参

考となる講演であった。

今回の研修会は県外からの参加者も数名おり、予想を上回る62名に参加頂いた。今後は血液担当技師のスキルアップ研修だけでなく、これから血液検査をはじめていく初級者向けの研修も企画していきたい。